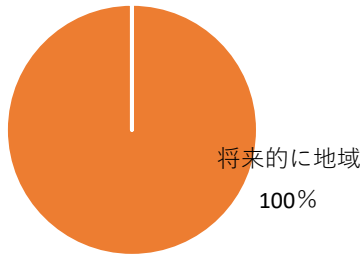


休日地域部活動に関するアンケート結果について

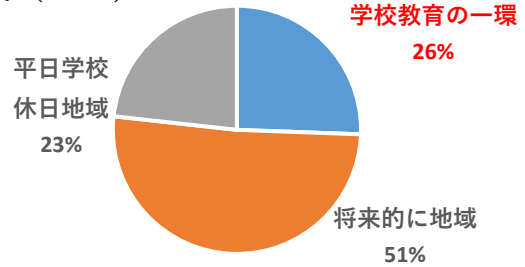
1 部活動を将来、学校が継続して担うべきか。

部活動を将来的には地域へ移行するべきと校長は考えており、教員の約5割もそう考えている。一方で、保護者の約6割、教員の約3割、地域指導者の約2割は、将来も部活動は学校教育の一環として継続すべきと考えている。

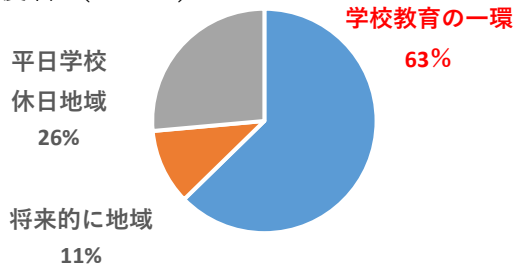
校長 (N = 2)



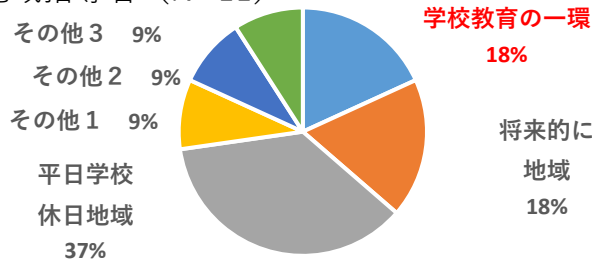
教員 (N=47)



保護者 (N=221)



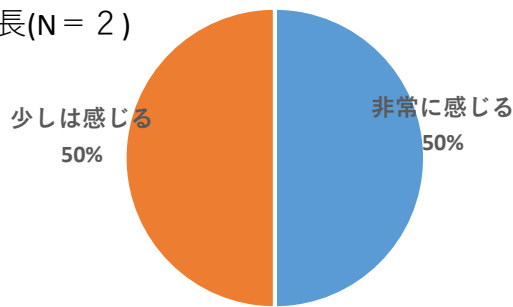
地域指導者 (N=11)



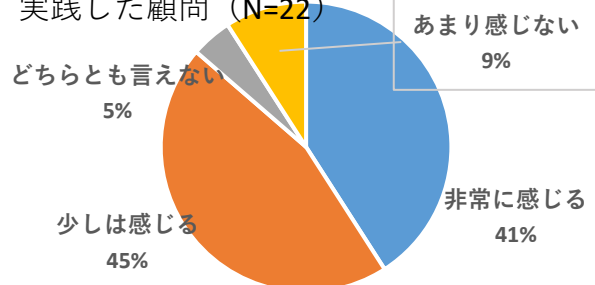
2 休日の地域部活動は教員の負担軽減につながったと感じるか

校長及び教員の約9割が地域部活動は教員の負担軽減につながったと感じている。

校長(N = 2)



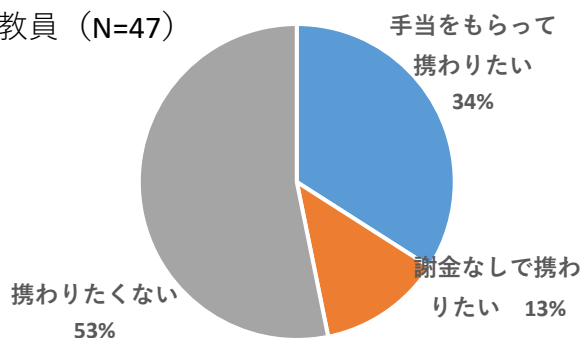
実践した顧問 (N=22)



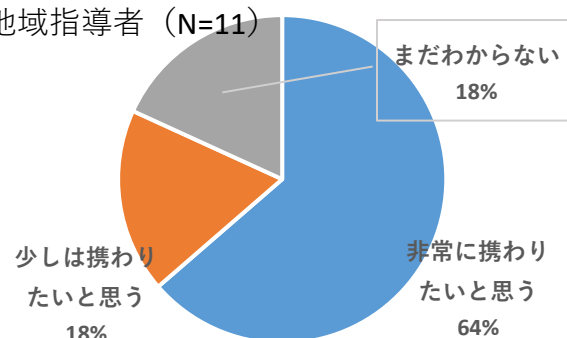
3 休日の部活動が地域に移行した際に指導に携わりたいか

休日の部活動に教員の約5割は携わりたくないと回答しているが、約5割は携わりたいと考えている。中でも約1割は謝金なしでも携わりたいと考えている。

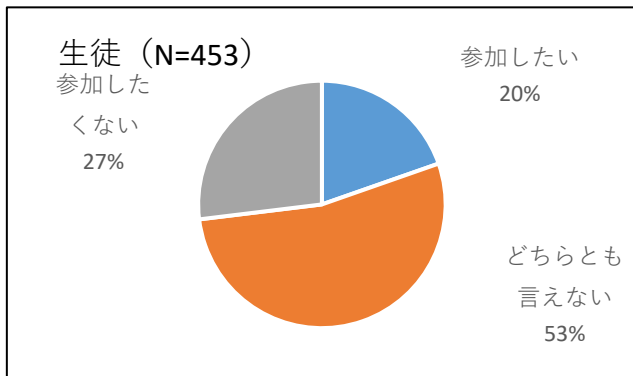
教員 (N=47)



地域指導者 (N=11)

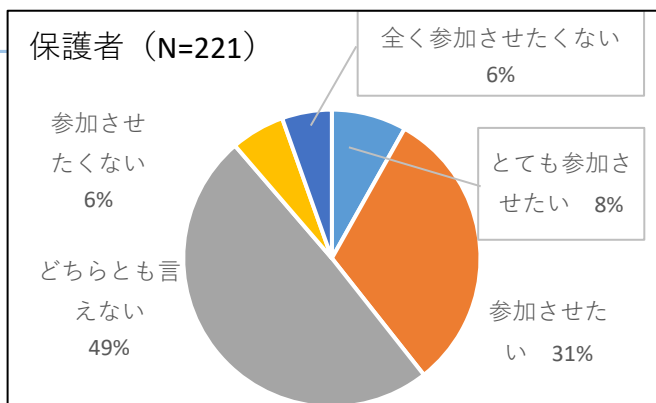


4 月謝を支払うことになったとしても休日の地域部活動に参加したいか。



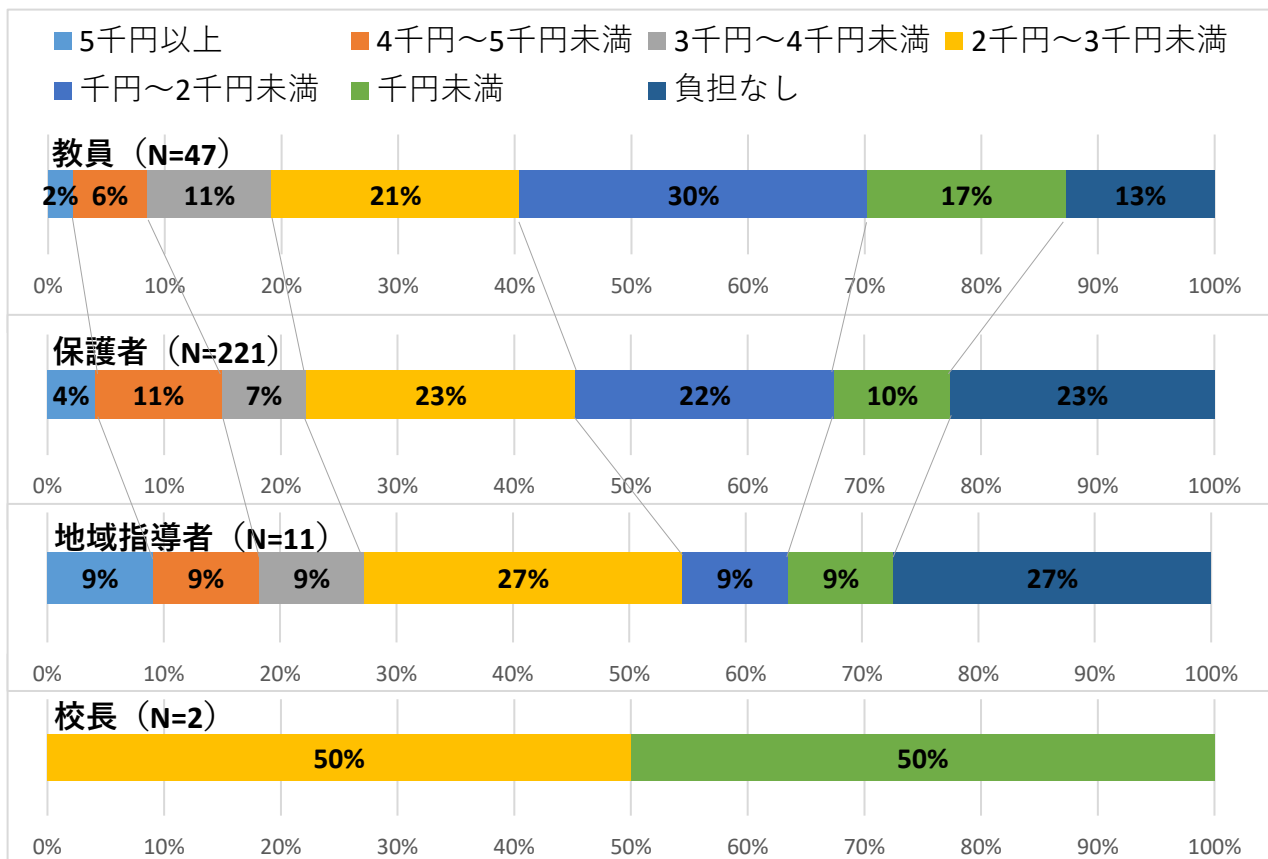
月謝が発生した場合、約半数の生徒や保護者は参加を迷っており、生徒の約3割は参加したくないと考えている。
保護者は約1割がとても参加させたいと回答している一方で約1割は全く参加させたくないと回答している。

5 地域部活動に参加する際に保護者負担があっても参加させたいか。



6 休日の部活動が地域へ移行した場合、保護者が負担する妥当額（月謝）はいくらか。

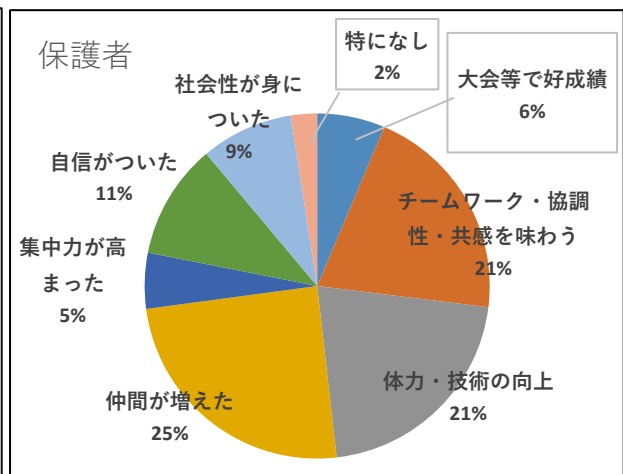
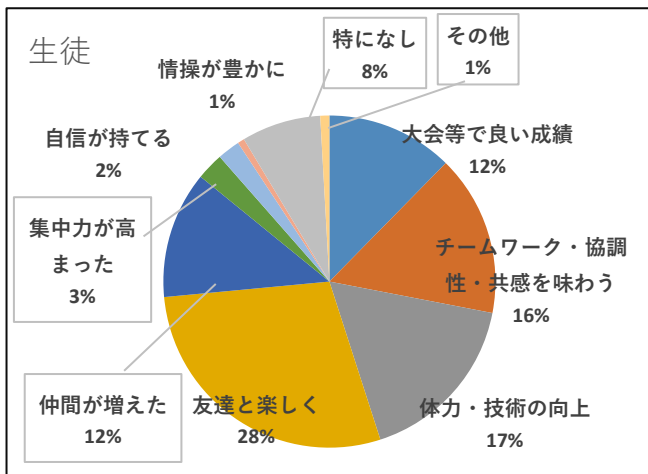
3千円未満が妥当であると回答している割合が高いが、教員の約1割、保護者の約2割、地域指導者の約3割が負担なしと回答している。また、地域指導者の約1割は5千円以上が妥当としている。



【部活動の在り方】

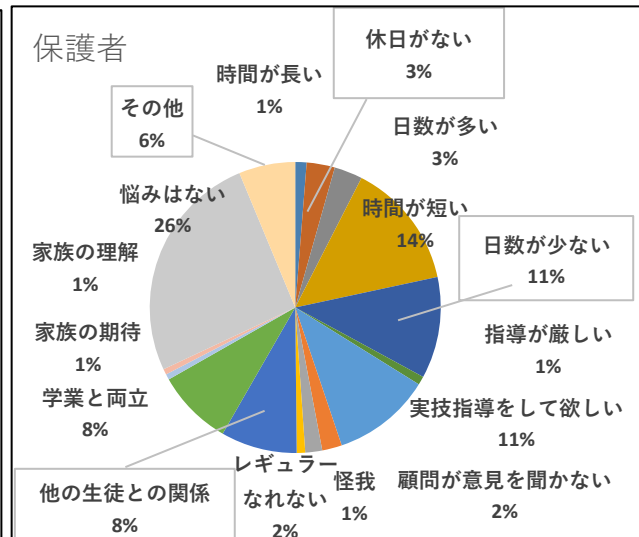
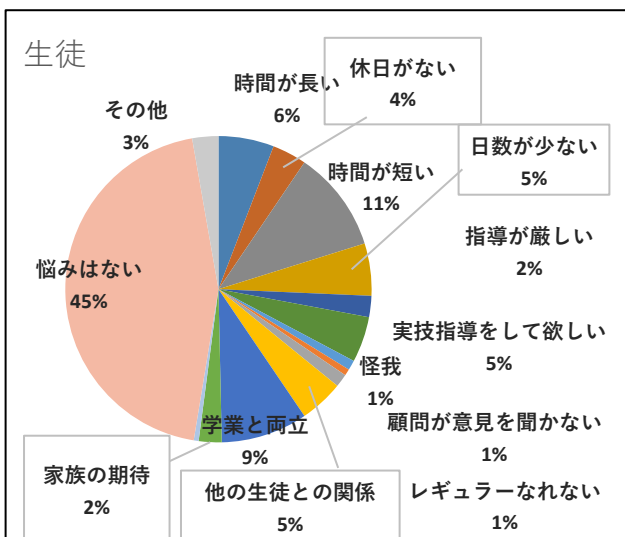
7 部活動の良い点について

生徒や保護者は、部活動で良い成績や体力・技術の向上を目指し、仲間作りやチームワーク・協調性・共感を味わうなど多くのことが得られていると実感している。



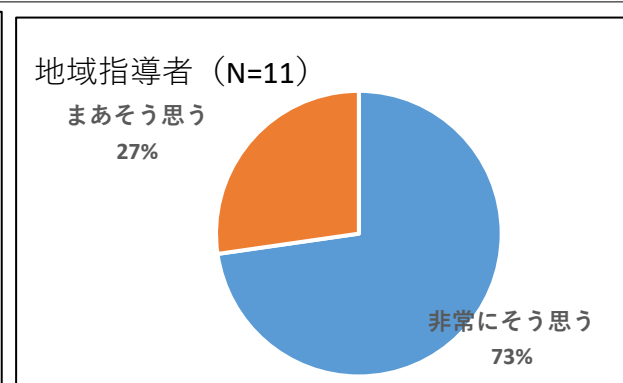
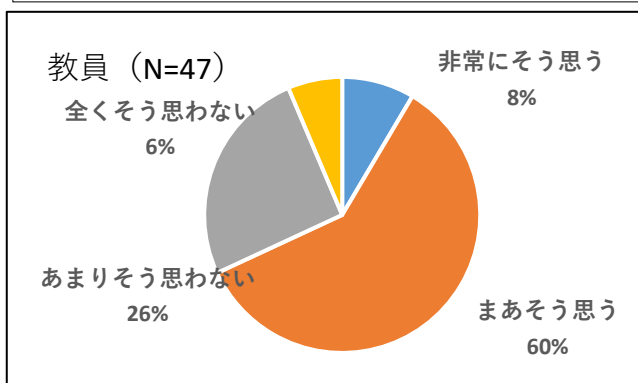
8 部活動の悩みについて

生徒や保護者の多くは部活動に対する悩みはないとしているが、中には活動時間等の悩みを感じているものも見られた。



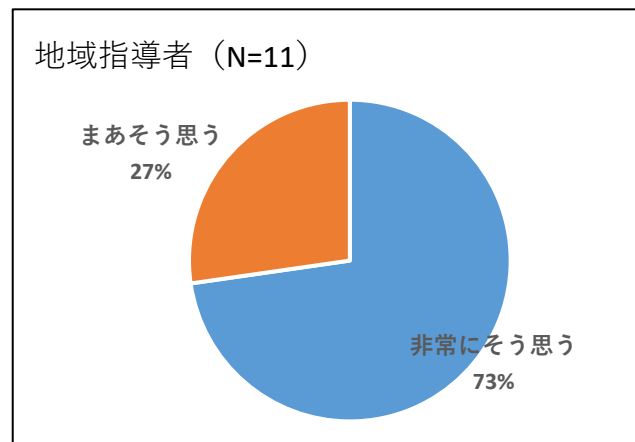
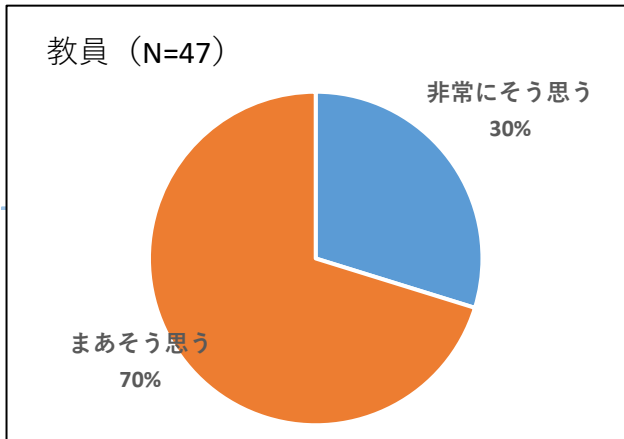
9 技術力の向上を重視し、大会・コンクールでの好成績を目指すべき

地域指導者は全員（100%）が部活動は大会やコンクールで好成績を目指すべきと考えており、教員の約7割もそう考えている。



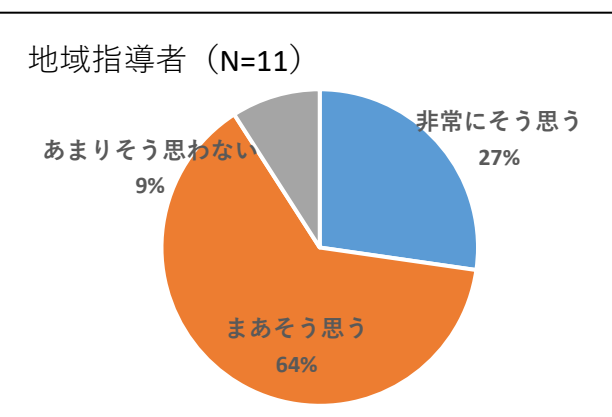
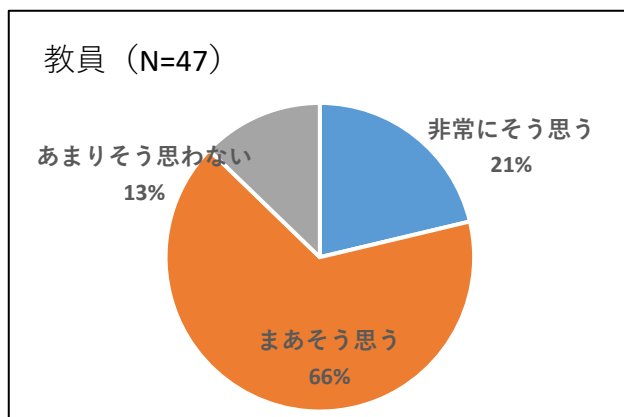
10 生涯スポーツのための運動習慣の形成に向けて楽しく活動すべき

教員も地域指導者も、部活動は運動習慣の形成に向けて楽しく活動すべきと考えており、特に地域指導者は7割が非常にそう思うと回答している。



11 生徒のニーズに合わせた多様な活動ができるようにすべき

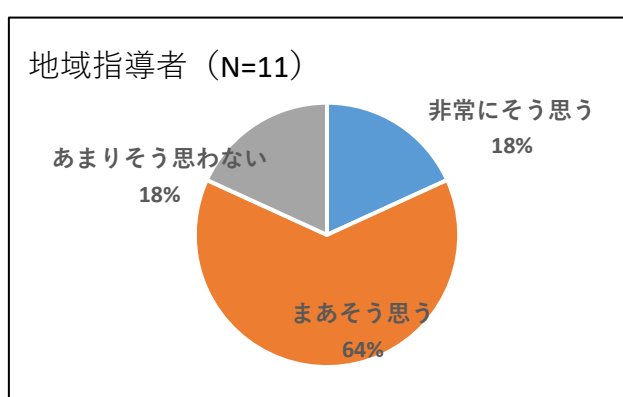
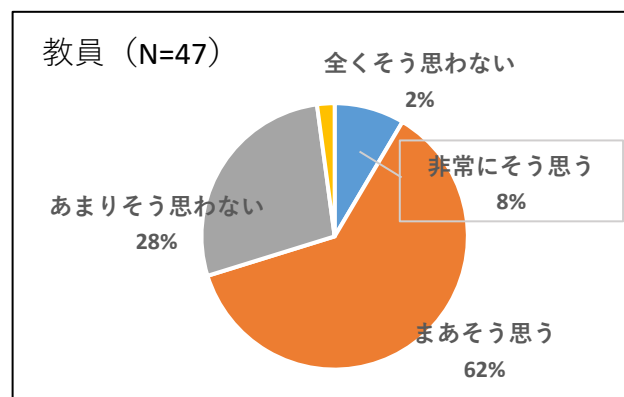
教員も地域指導者も、約9割が部活動は生徒のニーズに合わせた活動ができるようにすべきと考えているが、1割はそう思っていない。



【休日部活動】

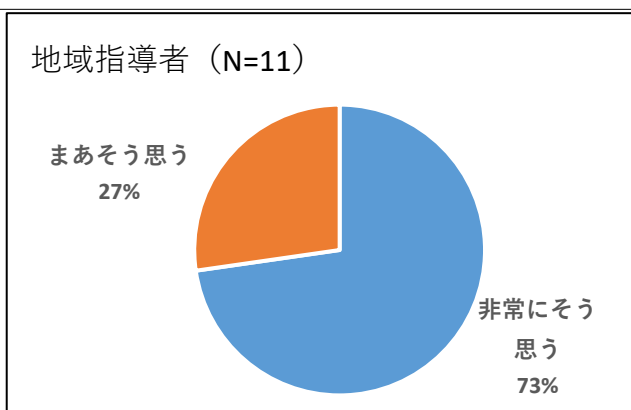
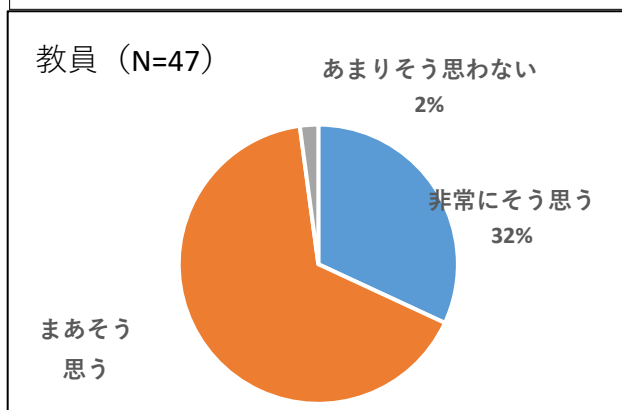
12 技術力の向上を重視し、大会・コンクールでの好成績を目指すべき

地域指導者の全員(100%)が、部活動では大会・コンクールで好成績を目指すべきと回答していたが、休日の部活動では約2割が余りそうは思わないと回答している。



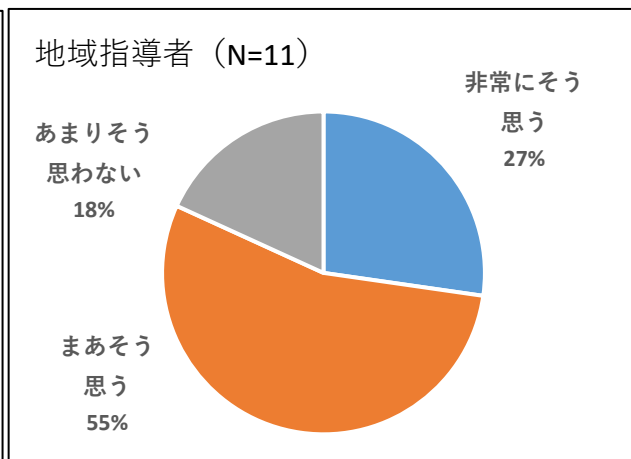
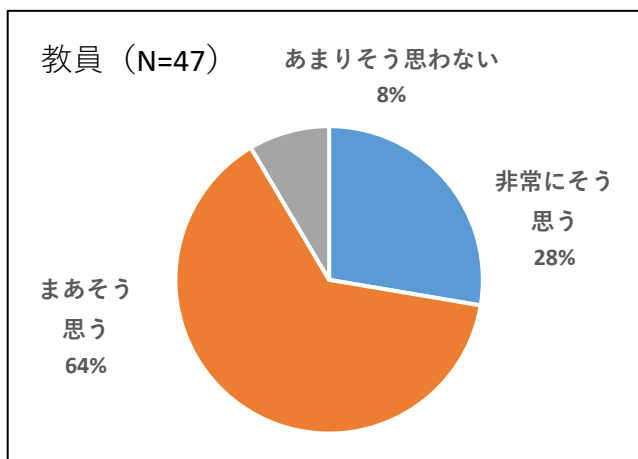
13 生涯スポーツのための運動習慣の形成に向けて楽しく活動すべき

教員も地域指導者も、部活動と同じく運動習慣の形成に向けて楽しく活動すべきと回答している。



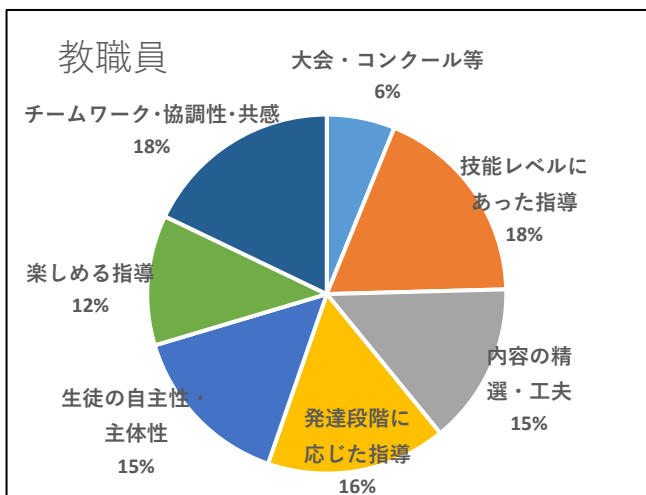
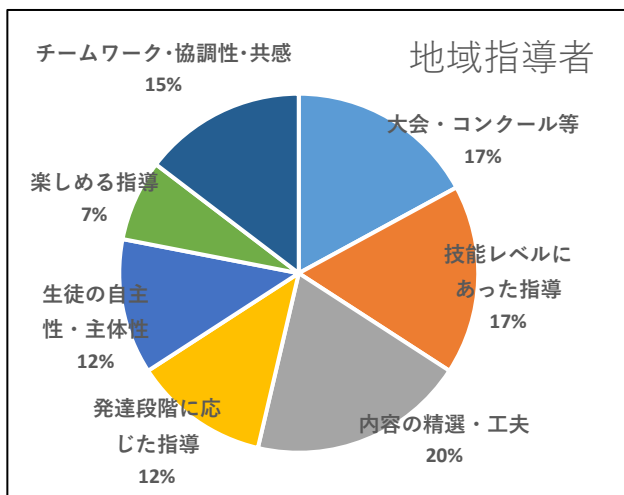
14 生徒のニーズに合わせた多様な活動ができるようにすべき

教員や地域指導者の約9割が部活動は生徒のニーズに合わせた活動ができるようにすべきと回答していたが、休日部活動では地域指導者の約2割があまりそう思わないと回答している。

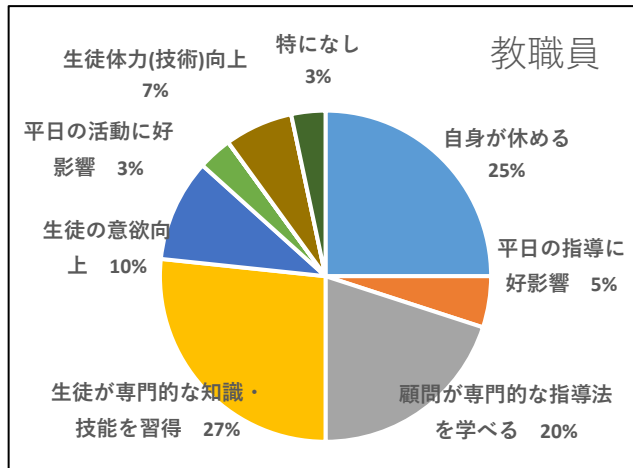
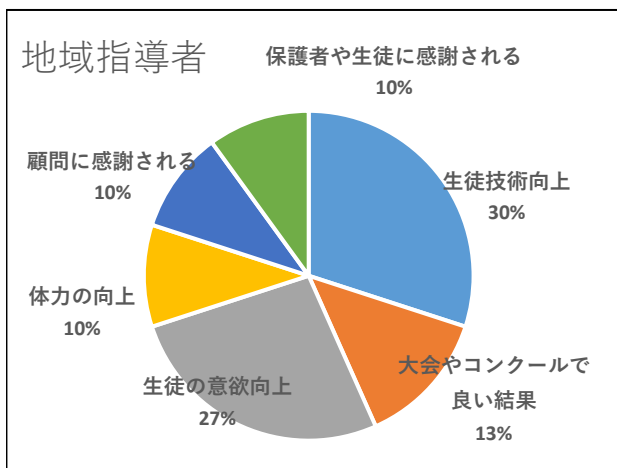


15 休日の地域部活動にあたり、指導者が特に重視すべきと思う点は何ですか。

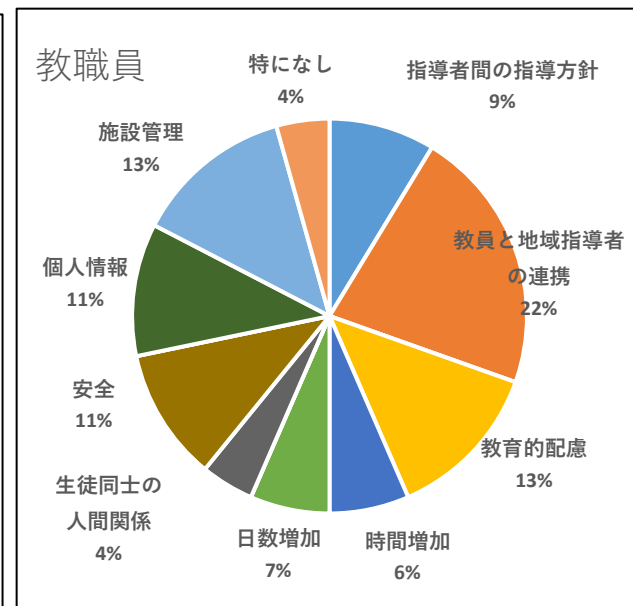
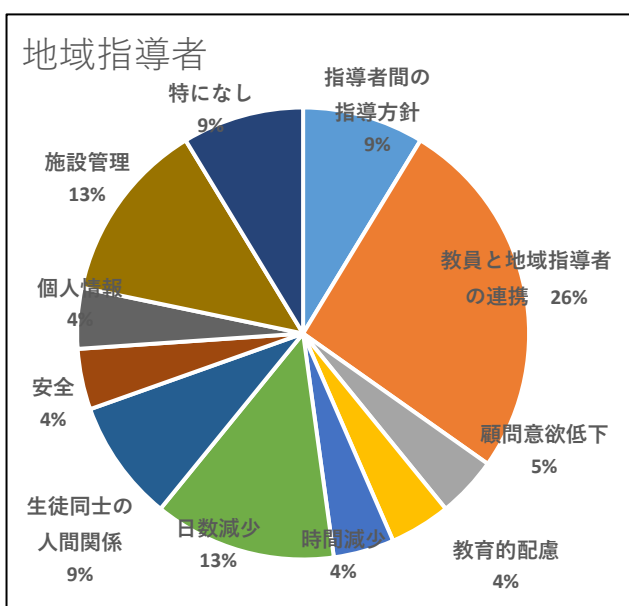
休日の地域部活動について、特に重視している点は指導者間で大きな相違はなかった。良かった点については、教員は自身が休めるようになった、専門的な指導法を学ぶことができたが多く、地域指導者は生徒の技術や意欲が向上した点であった。課題は、指導者間の連携や施設等の管理が挙げられていた。



16 休日の地域部活動を実践して、良かったと感じること。

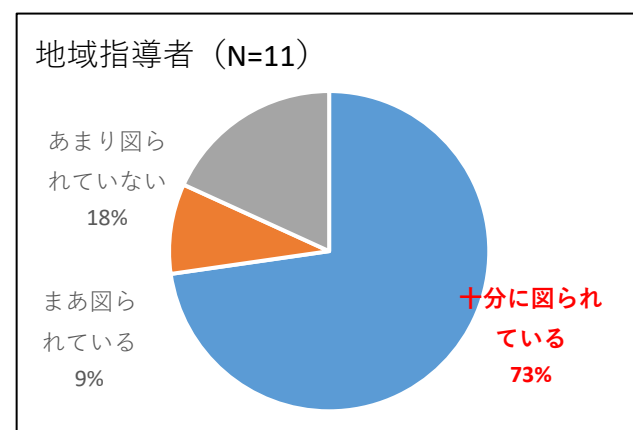
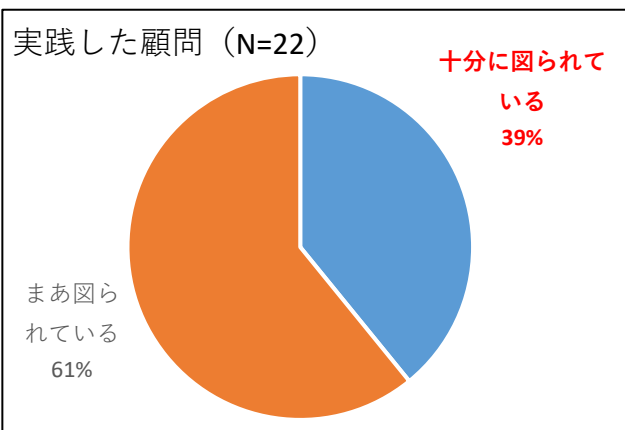


17 休日の地域部活動を実践しての課題



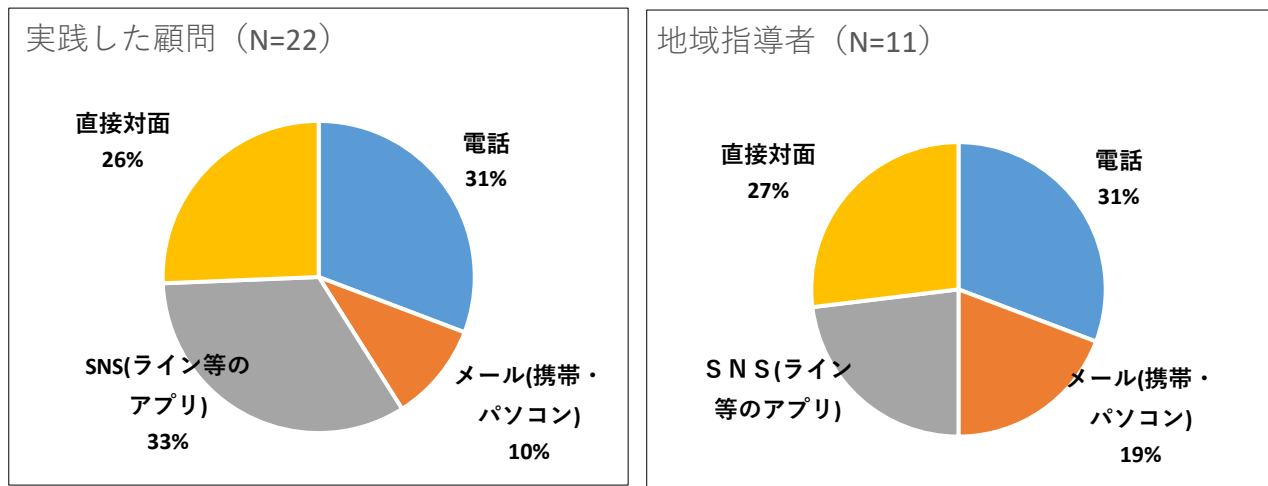
18 顧問と地域指導者との連携は図られているか

地域指導者は約7割が指導者間の連携が十分に図られていると感じているが、約2割はあまり図られていないと感じている。顧問は十分に図られていると捉えているのが4割ではあるが全



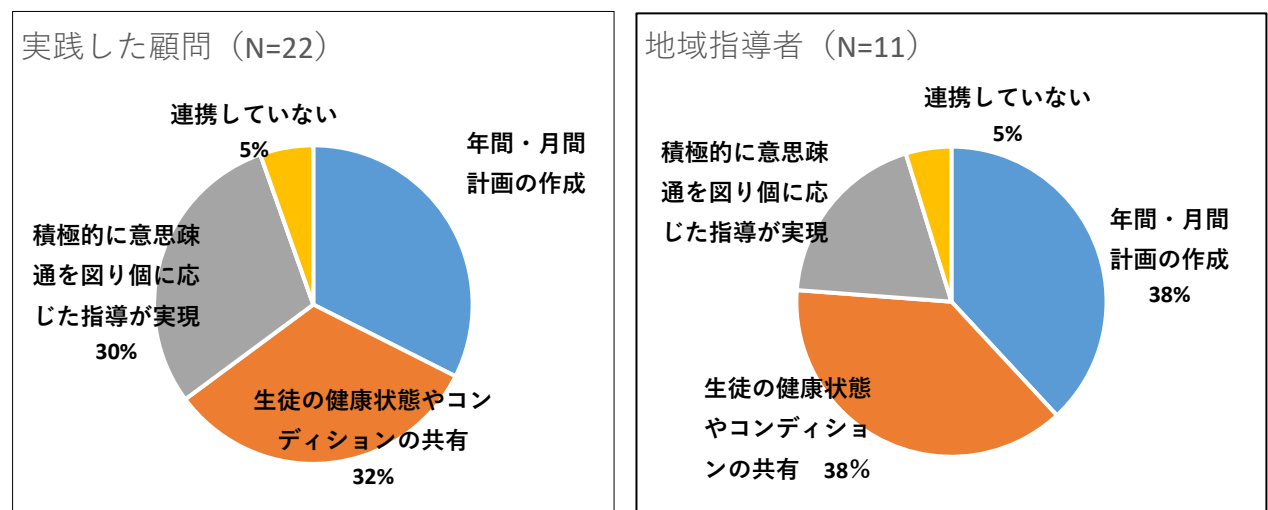
19 顧問と地域指導者との主な連絡手段

指導者間の連絡手段は、約3割が電話や直接対面、ライン等のSNSアプリであった。



20 顧問と地域指導者との主な連携内容等

指導者間の主な連携内容は、練習計画の作成や生徒の情報の共有、指導に関することであるが、連携していないが5%であった。



21 休日の地域移行について (自由記述)

【生徒】

- 「休日の部活動の地域移行」についての生徒の自由記述は合計で452件であった。その内、地域移行に肯定的な記述は223件 (49.3%) とほぼ半数であった。否定的な記述は65件 (14.4%)、「どちらとも言えない」などの中間的な記述が164件 (36.4%) である。
- 肯定的記述の75.3%は「いいと思う」等の単純肯定である。技術向上や地域交流に期待を込めた希望的肯定は17%であり、活動時間や内容などの条件付で肯定する記述が6.7%あった。また、地域移行に伴う感染拡大や学外者との人間関係に不安を抱えつつ肯定する記述も若干あった。
- 否定的な記述では「よくない」「反対」などの単純記述が大半であったが、移動に伴う負担増による否定、学外者との交流への不安や顧問教師への信頼から学校部活動の維持を希望する記述もみられた。

【保護者】

○ 「休日の部活動の地域移行」についての保護者の自由記述は合計で80件であった。その内、地域移行に肯定的な記述は51件(63.8%)と6割強であった。否定的な記述は14件(13.8%)、「どちらとも言えない」などの中間的な記述が14件(17.5%)である。

肯定的記述のうち、「条件付で肯定」の割合が51.3%であり、地域移行に概ね肯定的ではあるが何らかの条件を追記した意見が多い。その条件をみると、「教員の負担軽減につながるのであれば(34.1%)」、「地域指導者の資質が担保できるのであれば(22.0%)」、「専門的な指導が受けられるのであれば(12.2%)」との内容が多くみられる。また、地域指導者との連携、地域に移行することによって活動機会を奪われる部員がでないような配慮を条件とする意見もみられた。

○ 否定的な記述内容では、「保護者の負担が増えることへの懸念」や「地域指導者の教育的観点からの不安」、「過熱化への懸念」などがあげられている。また、そもそも休日の活動自体に否定的な意見もあった。

○ どちらとも言えない中間的な記述には、「日によって指導者が変わるのはよくない、学校か地域か決めるべき」、「指導者の資質による」、「どちらでもいいが保護者の負担が増えることは避けたい」、「事業の趣旨説明不足が不足しているため判断できない」などの記述がみられた。

【学校長】

○ 適切な指導者を得て地域部活動に移行していければよいと思うが中体連など部活動に関わる組織の改革が伴わないと、大会参加などの問題があり実現が難しいと思う。

○ 中体連の在り方を整理する必要はあるが、確実に移行を進めていただきたい。

【教員】

(肯定的)

○課題を解決しながら、将来的には地域移行してほしい。

○良いと思う。担当教員が経験したことのない競技を指導することも多い中、専門の指導者の下での練習・大会になるため。

○休日だけではなく、部活動自体を学校から切り離し、地域移行すべきだと思う。部活動で教職員に採用されたわけではないので、本来の仕事に専念したい。

○正顧問の負担は軽減することは確かなので、賛成。

(否定的)

○その競技を希望した生徒すべてが生かされる指導が実践されるのであれば歓迎する。単に第2のクラブチーム化(活躍できる生徒のみ恩恵がある活動)では生徒指導面で荒れる可能性があり、心配である。

○学校の生徒指導面が難しくなる可能性がある。部活動で師弟関係ができないため、働き方改革と言いながら、逆に、教師の負担が増える可能性あり。

○学校生活も含め、生徒の様子を見守ることができる利点があるため、現在の仕組みで部活動を行っていくことが望ましい

○可能ならば移行すべきだが、現状難しいと思う。

(条件付)

○しっかりとした体制が整ったうえで地域移行が進んでいくとよい

○実現するためには、これまでの取り組みで見えてきた課題をどれぐらい解消できるかが重要だと思う。課題が見つかって解決に向けた具体策もないまま、いつしか無かったことになるようでは、今回の取り組みの意味がなくなると思う。実現に向け少しずつでも課題を解決できればと思う。

【地域指導者】

○指導者も仕事があるので、できる人がいれば移行した方が良い。また一人では出来ない時もあるので複数人が良い。

○将来的にはその方向に進むべきと思うが、画一的にも決められない

○地域スポーツ団体と中学校や中体連の意志疎通を計り少子化に対応する必要がある。

○良いと思うが、現実的には指導者が少ないような気がする。地域指導者の確保をどのようにするかが課題である。

○学生スポーツが充実していくのであれば必要であると思う。

○いいと思うが地域指導者も人間なので、どちらか両極端に任せるのではなく顧問と地域指導者が話し合っ
てシフト制にする事も大切と考える。また平日地域指導者が必ず指導に当たれる保証はない。特に働き世代は、通常の仕事、家庭、地域指導の三刀流になる。顧問の労働環境も大切だが、地域指導者の労働環境も大切である。長く子供たちを指導できる環境や精神的な部分が大切。極端にフォーカスするのではなく、顧問や地域指導者がとにかく長く子供たちに精神性も含めて良い指導で導くことが大切である。

○移行できる部（学校）とそうでない部（学校）の線引きを如何に行うか。 クラブ所属の生徒は休日も活動機会が多くあるので、部活のみの生徒も保護者同意があれば、地域指導者が活動機会を増やしてあげられるので至急改善して欲しい。学校主導では施設の空き状況が把握できず、計画立案に苦慮した。移行に際し、見直しが急務である。知らぬ間に退部している生徒がいても学校から情報開示が一切ない。共有あつて然りのため、顧問から配信困難であれば校長・教頭からの情報配信が必要だと思う。 費用負担は、競技選択に影響が出る。

地域指導者というのは、自分が選択して行なっているわけで、やりたくてやっている人が多いと思うので負担には感じないはずです。なので、連携がしっかり取れていれば地域に移行することに賛成です。

○部活動の一環として指導すると、生徒に対して厳しい指導が難しい。部活動をさぼりがちな生徒に対しての指導に悩みがある。また、学校教育の一環としての指導なので、場合によっては出欠の確認から保護者への連絡等、少し対応が難しい時がある。3~4人も確認していたら、何の指導もできなくなってしまう。

○指導者の確保、場所と時間の確保、様々な面で体制が整ってからスタートする必要があると感じる。

○指導者はあくまでも顧問の先生のアシスタントでやることで、力が出ます。指導者が行き過ぎると子供や保護者が混乱します。顧問と共にやることに意味があると思う。